

Fuji Dempa

誠意・創意・熱意 みなぎる

「相談し甲斐のあるエンジニア」がいっぱいいる会社

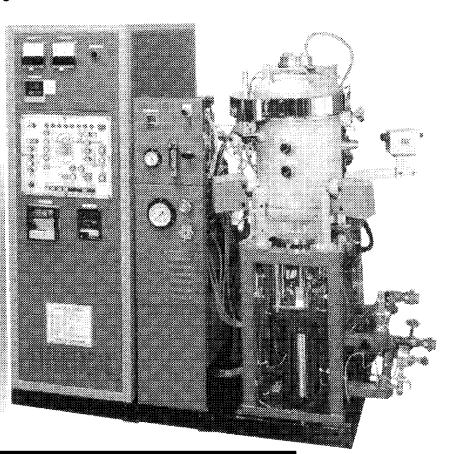
新素材を生み出し、製造コストを削減し、省エネルギーを実現し、安全な生産プロセスを構築する。そんな幾多の先端的な技術課題に挑むお客様からのご相談を、加熱技術で確実にカタチにするために、誠実で、愚直に、とことんまであきらめず、知恵を絞り、そして汗をかく。お客様と二人三脚で疾走する技術・技能者集団として、信用と実績を積み重ねて71年。これからも、技術に磨きをかけ、より高度な加熱ニーズにお応えします。



大阪ものづくり優良企業賞
2018年度
審査委員特別賞受賞!



滋賀第三工場 延伸工事完成



多目的高温炉「ハイマルチ」
ファインセラミックス等の素材開発に不可欠な標準機として国内外の研究機関・企業に250台以上の実績。この1台で真空・常圧・加圧でのホットプレスと焼結が全て可能。

「賢者の選択・One's Style #56富士電波工業」
(SUN-TV 2019.6.24放映)
→YouTube配信中

営業品目
○高周波誘導加熱炉・真空加熱炉・加圧誘導加熱炉・高周波大気加熱炉
○誘導加熱装置・ヒートパイプ・焼入れ装置・ろう付け装置・焼ばめ装置・乾燥炉・焼鈍炉
○焼結炉・ホットプレス真空常圧誘導加熱炉・ホットプレス・加圧誘導加熱炉・ホットプレス・連続炉
○黒鉛化炉・熱処理炉・脱ワックス炉・多目的高温炉・昇降炉・CVD装置・ローラーハウス炉
○シリカ加熱装置・熱解析・委託実験

「ものづくりの魂」をつなぎ人と地球の未来を創る

富士電波工業株式会社

本社：大阪市淀川区新高2-4-36
東京営業所 名古屋営業所 滋賀工場 つくば事業所
<http://www.fujidempa.co.jp>

Est. 1948
ISO 9001



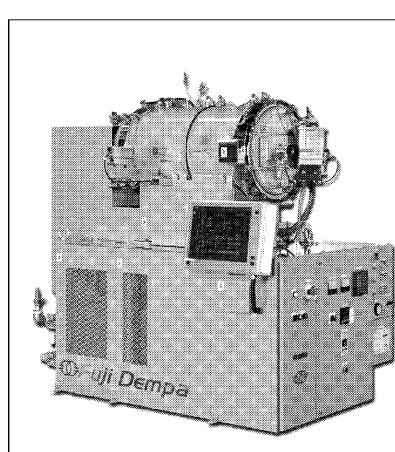
富士電波工業 横島 俊夫社長

次世代の素材開発を探索 生産性を向上し、余力を創出

見据えるものは、
日常の仕事を手早くこなし、時間、余力をつくり出して、先への準備をしたい。現在の中心となっている用途の次に来るものは何なのかを勉強しなければならぬ。19年9月から新たな中期経営計画（5カ年）をスタートした。これまで当社は

超高温を発生させた、圧力を上げたり真空にしたり、大電流機器の技術で強みを持ち、無機材料に関する知見を蓄えてきた。極限・特殊環境を作り出し、それによって新素材を生み出そうとする素材メーカーを後押しする。

「次に来るもの」のイメージは、
今後はエネルギーをいかに有効に使うか、クリーンに生み出すかが重要なテーマになる。中でも電池ではリチウムイオン電池が進化を続け、全固体電池の開発も進められている。自動車、航空機、宇宙へと用途拡大も進むことが見込める。私たちも受託試験の拡大で素材産業の動向を探るなど、もっと知見を深め、取り組むべきテーマを見つけていきたい。



超高音霧雰囲気炉

何でも揃う！鋼板のホームセンター

すべての鋼板を
手のひらサイズ1枚から
必要なサイズに加工して販売いたします！

初めてでも少量だけでも大丈夫！



営業品目：長尺曲げ 600t 6m、レーザー加工、シャーリング、定尺販売

秋山シャーリング株式会社
〒550-0025 大阪市西区九条南 4-21-12
TEL:06-6583-1256 FAX:06-6583-1206

秋山シャーリング 検索



秋山シャーリング 吉川 成次社長

全鋼種を在庫し加工も対応 サービスの差別化で売上増

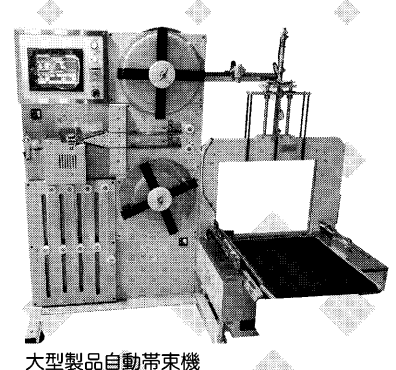
「貴社についてお聞きください。」
当社は1964年創業の鋼板専門会社で、鋼板販売と金属加工を手掛けている。これまで、長年蓄積した高度な加工技術と豊富な在庫で顧客満足度の高い材料や加工品を提供している。

「貴社の強みは、事業の3本柱は、定尺販売、シャーリング加工、金属加工。鋼板の販売では、熱延材、冷延材にかかわらず全鋼種を幅広く在庫している。入手困難な特殊鋼材でも小ロットで切り板一枚から販売している。また、加工部門では600t×6mに対応できるプレスフレキを導入しており、長尺曲げ加工や深曲げ、四方曲げなど他社にはできない加工にも対応できる。全ての鋼種の在庫をそろえ、全ての鋼種の加工に対応できる。会社は少ないと、思う。」

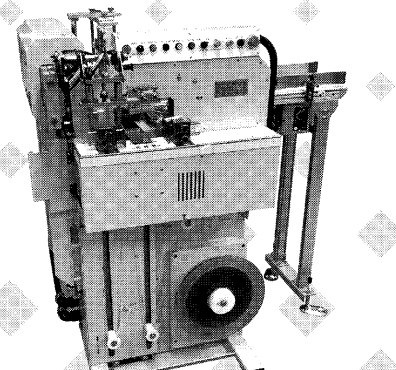
「その他の特長は、ガルバリウム鋼板やカラー鋼板といった薄板の曲げ加工も行っている。飛び込み訪問中心で、効率が良かった。その時の経験から、売上の伸びは、マンパワーだけに頼るのではなく、他社のサービスとの差別化（価格、種類、納期）が必要だと感じた。スパーを例にすると、他にない商品を幅広く取りあつかう、消費者に安く提供している店舗には顧客が集まる。売り上げは3年前と比較し、2倍となった。今後も顧客に満足してもらえる会社となるよう努力していく。」

COM® WAS型 自動機対応

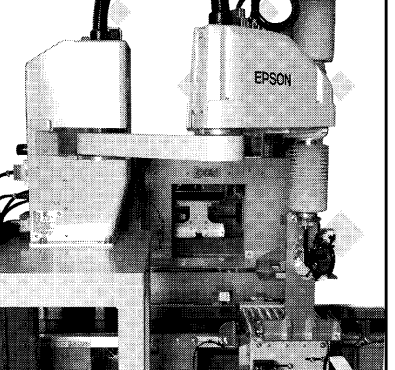
新包装形態へ対応、環境負荷を低減
弁当・惣菜パックなどの簡易包装に最適



大型製品自動束束機



WAS250-30-PUSH



ロボット組込み型自動束束機

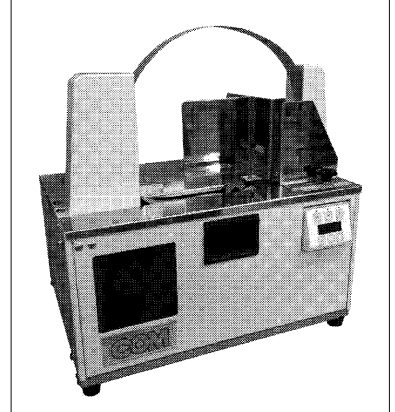
様々な自動化に対応可能、省スペース化を実現

大洋精機株式会社

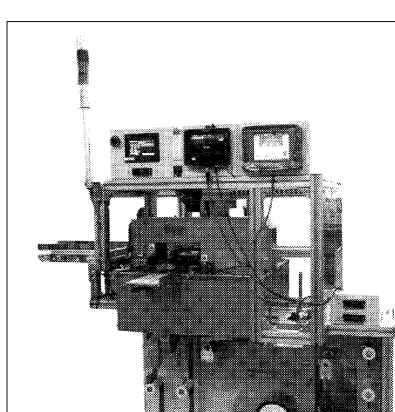
本社 〒574-0062 大阪府大阪市水野4-3-7
TEL:072-873-3739 FAX:072-875-4324
taiyo@com-machine.co.jp

東京営業所 〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-5-12 船山ビル401
TEL:03-5639-9033 FAX:03-5639-9060
taiyoseiki.tky@chorus.ocn.ne.jp

<https://www.com-machine.co.jp>



JD II-240



WAS-PUSH型

食品関連の需要高まる 国内外で新市場開拓

「売れ筋の製品についてお聞かせください」
われわれ、創業当時の製品「Jシリーズ」が今も修理して使われるなど、顧客の間で愛されている。累計販売台数6万台を超えるヒット商品だ。

「その他の製品は、10年ほど前から、生産ラインに組み込むための大型束束機も製造しており、「WA

「Jシリーズ」は、Sシリーズとして販売している。基本的に顧客の仕様に合わせて受注生産で、シリーズも用途ごとにさまざまな仕様に対応し、校分が揃っている。現在、卓上型と大型の売り上げ比率は同じくらいになっている。売り上げの3割は海外向けで、これからもさまざまな

「今後の展望は、日本国内は人手不足が深刻化しており、手作業で行っていた束束を自動束束に変える企業が増えている。食品や医薬品などの製造ライン向けの大型束束機の拡販に注力していく。また、新興国の銀行に紙幣の束束機に用いるため、各国の中央銀行に働きかけを行っている。」

2020年 始動 大阪の優良企業トップに聞く